

終わっちゃう 聖女


兵士少女は、
大切な人の為に
記憶を消して、
その身を捧げる...



——ほんとうにいいの？
サイトの記憶を消したら……


大事な思い出も
なくなってしまうのよ





アイツが居ない世界なんて
耐えられない——

この先、耐える自信がないのよ
だから……、お願い



あなたの選択が……、
正しいとはとても思えない

でもそれがあなたの
ためだというのなら……

ナウシド・イサ・エイワーズ

私、もう一生誰も

愛さない――

ハガラス・ユル・ベオケ

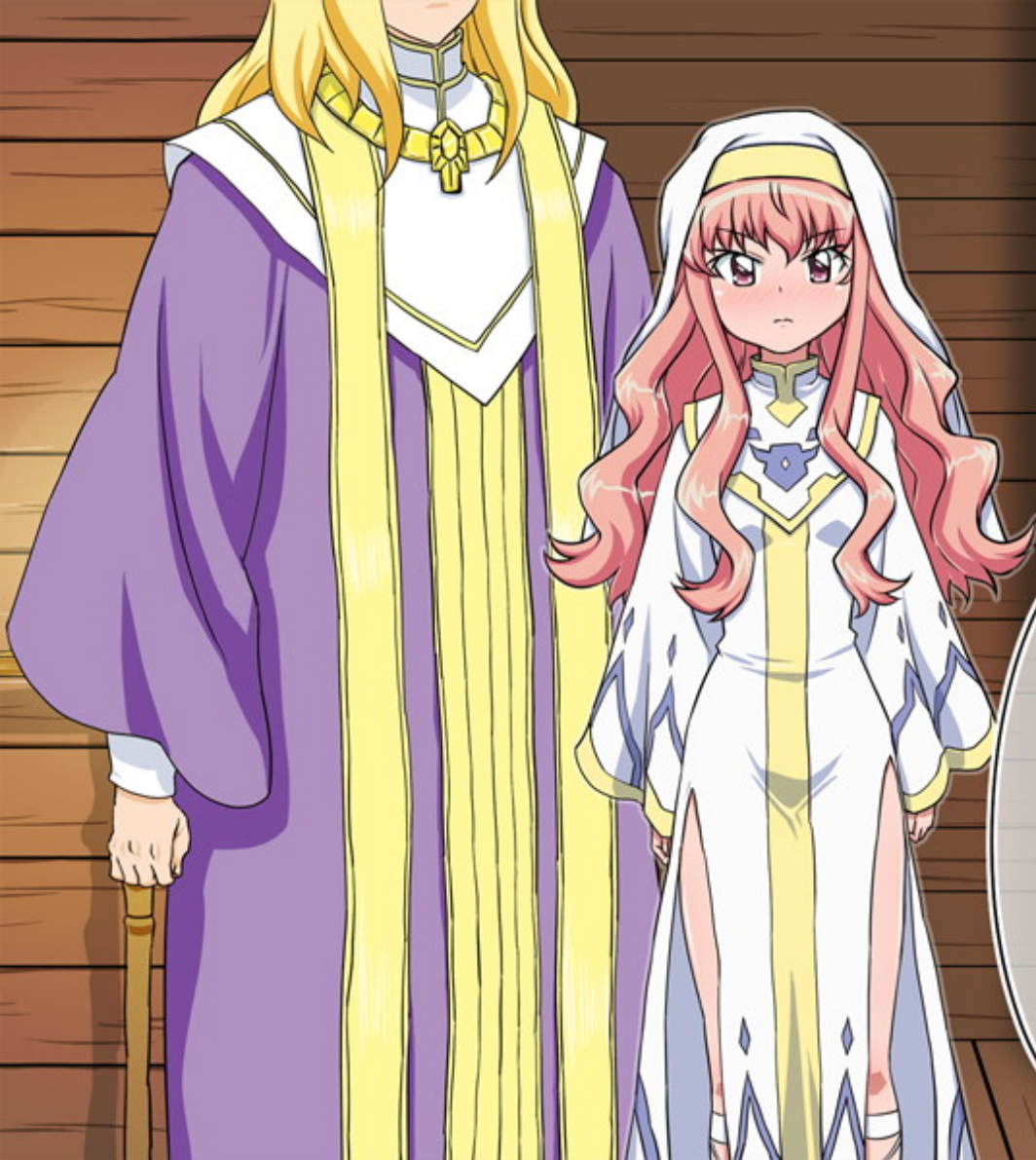
ハルケギニアの理想のために
この一生を捧げるわ






……さよなら
私の優しい人——

……さよなら
私の騎士——
シムバリエ



それでは皆さん、
ご紹介致しましょう

我々を率いて聖戦を
戦ってくださいる、
聖女殿です

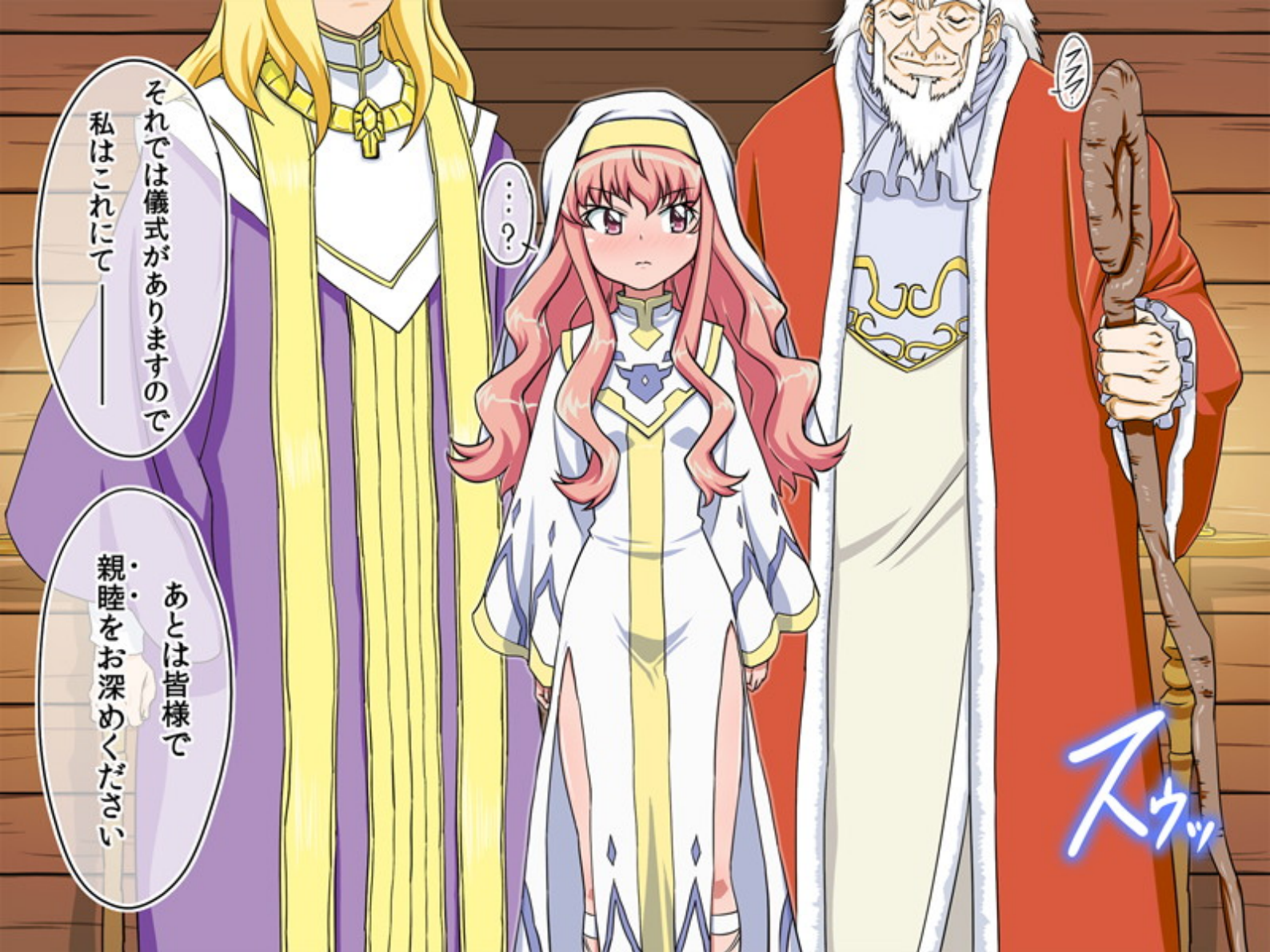


さあ聖女殿、將軍方に
ご挨拶を――

ハイ、聖地奪還のために

この身を捧げます――

ルイズ・フランソワーズ・
ル・ブラン・ド・ラ・
ヴァリエールです



それでは儀式がありますので
私はこれにて――

……？

あとは皆様で
親睦をお深めください

スグッ

これはこれは

実にかわいらしい聖女ですな
ミス・ヴァリエール

ドッ...

公爵家のご息女と親睦を
深められるとは光栄ですなあ



いっ——
一体何を！

何をも何も

そういうことでしょうか？

ミス・ヴァリエール

キャ

そんな！私は
そんなコトまでする
なんて聞いて
おりません！！

あなたはこれから
死地に赴く兵士達に
こうして安らぎを
与えるのですよ

ドクッ



それでは貴女は
聖女として、一体何を
なさるおつもりですか？

うう

そ、それは……
虚無の魔法を使って
戦いますわ！

自らの力を尽くして
命懸けで戦うのは
貴族も平民も同じ
ことでしょうか？

ひゃ

そ、それは……
その……

貴女は民を率いる
聖女として、一体何が
出来るのですか？

コレが聖女が出来る
他の者とは違う、
唯一特別なコトなのですよ

……

始祖の血を引くあなたの力で
ハルケギニアの民に安らぎと結束を
与えてくださいまし



ご納得頂けましたかな？

ミス・ヴァリエール

それではまずは私から

聖女殿の洗礼を受けさせて
いただきましょようか

齢七十を超えて今だ現役とは
大公殿は本当にお盛んですな



ほおコレは
なかなか可愛らしい
下着ですなあ

年相応で
素晴らしいですぞ

嫁入り前の娘が娼婦のような
スケスケの下着など
もつてのほかですからな



私はこれくらいの年頃の娘が大好きで――

毎年メイドにはかなりかけてはおりますが

貴族の娘にはおいそれとは手は出せませんからなあ





ほら、聖女殿
ここまで来たのですから

いいかげん
覚悟を決めなさい

グッ

グッ

グッ

クローン

グッ



下着だけでなく
ここも可愛らしい
ではないですか

こっ、こんな……
ヒワイな格好……

X19

ひっ!!

X19

X19

するん

卑猥も何も——

こうやって兵士達を
導くのですよ

そんな……

私……

イヤァ……

それでは皆様には
失礼して私から導いて
頂きますかな

ズ
ズ





おお、まだ処女
でしたか、さすがに
公爵家のご息女

平民？

はあ
あ

使い魔？

あのナマイキな
平民の使い魔などには
体を許してしなかった
わけですな

イタ
ああ

イタ
アア

ああ
ああ

マンコも平民の
メイド等とは違って
品がありますぞお！

ヤッ
ヤッ

マける
マける

始祖の血を引く
だけあって高貴な
締め付けですぞ





こうして皆を
まとめるの
ですぞお!!

ホラ! もつと
尻を突き上げなさい
聖女殿お!!

さあ!
練習なさい!

あはあ

あ

ん

ん

ん

ん

ん

ドッ

ドッ

ん

ん

ん

ん





何が平民の
英雄だ！

肝心な時には
姿をくらしおって
やはり余所者は
信用できん！

我々の土地は

我々自身で守らねば
なりませんぞお！！

こうやって
聖女殿の導きで
一丸となって

ぐっ！！
ううう

ぐっ
うう



平民より
凄い!?

どうだ!

フン!
フン!

何のことだか
わからないけれど……

何か……ムネが、
ムネが苦しいわ……

ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン



ぐりん

ああキツイイ!
穴が小さい!!

やはり女は
若いほどイイです
ぞお!!

ぐり

ぐり

びく

びく

あいかわらず
大公殿は激しい
ですなあ

はあああ
あああ

あああ
あああ

びく



ああ〜!!
イクぞお!!

公爵家の
処女マンコで
イクウ〜!!

ああ〜
でるう!!

ああっ
ダメエっ!!



ハジメテの
オチンポは痛かった
ですか？ 聖女殿

なにぶん穴が
小さいですから
なあ〜

しかし、よく御辛抱
なされました

御立派でしたぞお

はぁ

中……



——ですが
御安心召されよ

私は水魔法の
使い手——

すぐに破瓜の
傷を癒して
さし上げますぞ

うう……





はあああ
ダッ
エエ
エエ

そんなあ

これで続けざまに
もう一発おつとめを
果たすことが
出来るでしょう

そのお年で
現役どころかたて続け
に、一回とは我々も
あやかりたい
ものですな

そんなことより
目の前の戦と聖戦を
生き残ることを心配なさつ
てはいかがかな

フフフツ
もつともですな

ひゃあ





私の二発目が
終わったら
皆さんもタツプリ
英気を養うと
良いでしょう

ダメダメ!!

やあ!!

ズコ

ズコ

パン

パン

パン

パン

パン

ズコ

ズコ

ズコ

パン

パン

ホラ、聖女殿！

今度は先ほどと違って
痛みは無いでしょう？

エツサ
おっでもまだ
苦しいねすっ

本当に穴が小さい
ですなあ、しかし
私達がタツプリと

はま

ほぐして
差し上げますぞお



聖女殿

今度は私の上に乗って自分で動いてみてはいかがかな？

はあ
あ

やあ
あ

押し掛かられるよりは
いくぶん楽でしょう？



ホラ！しっかりと腰を振りなさい！

あっ！イヤア何コレ！

こんなのお！
こんなのお！

どうです？

だんだん気持ち良くなってきたのではないですかあ？

き、気持ちよくなんかあ！
おっ！やあ！



——私は
こうやって

開通させた
未通女を水魔法で
癒して——

あ、あっ▼

ダメエ▼

そのまま快樂へ
いざなうのが
大好きでのお▼

だんだんスケベな
顔になってきていますぞお
圣女殿おろろ▼



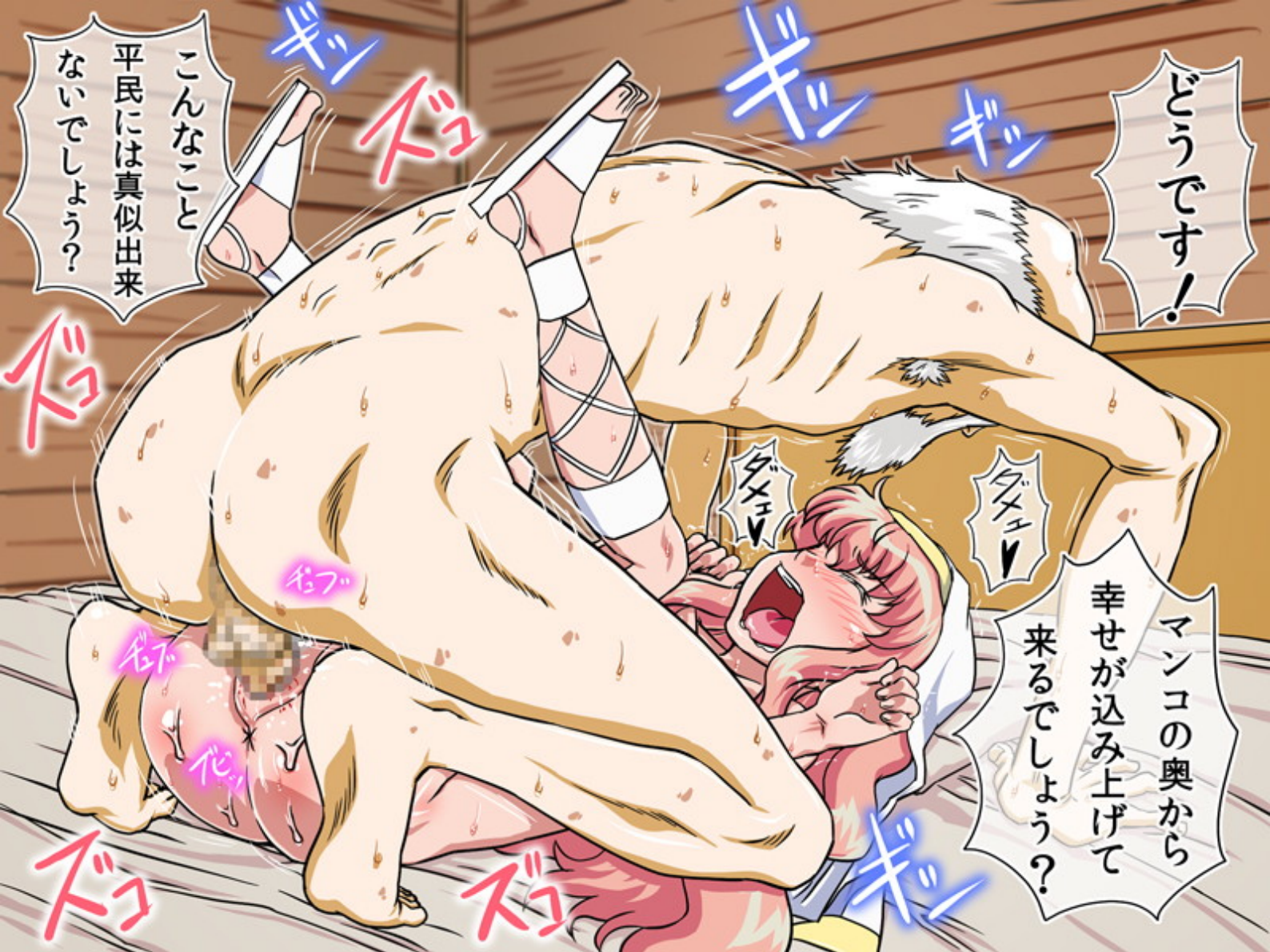


どれ、聖女殿の
穴も私のチンポに
馴染んで来た
ようですし

あああ
こんなの
あ

こんなの
クメエえ

タツプリと女の悦びを
教え込んでやりますぞお



どうです！

こんなこと
平民には真似出来
ないでしょう？

マンコの奥から
幸せが込み上げて
来るでしょう？

ググ

ググ

ググ

ググ

ググ

ズッ

ズッ

ゴッ

ズッ

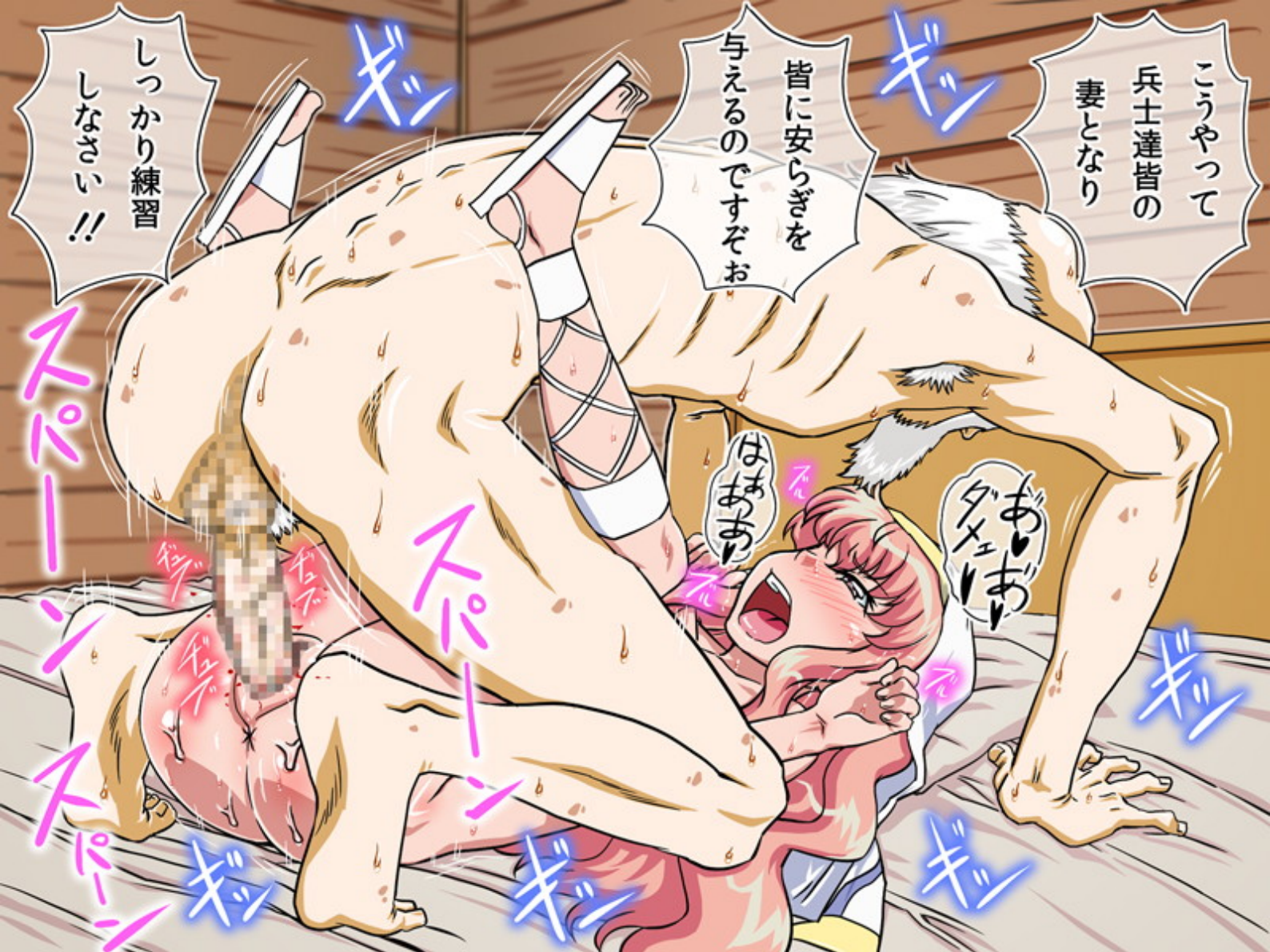
ゴッ

ゴッ

こうやって
兵士達皆の
妻となり

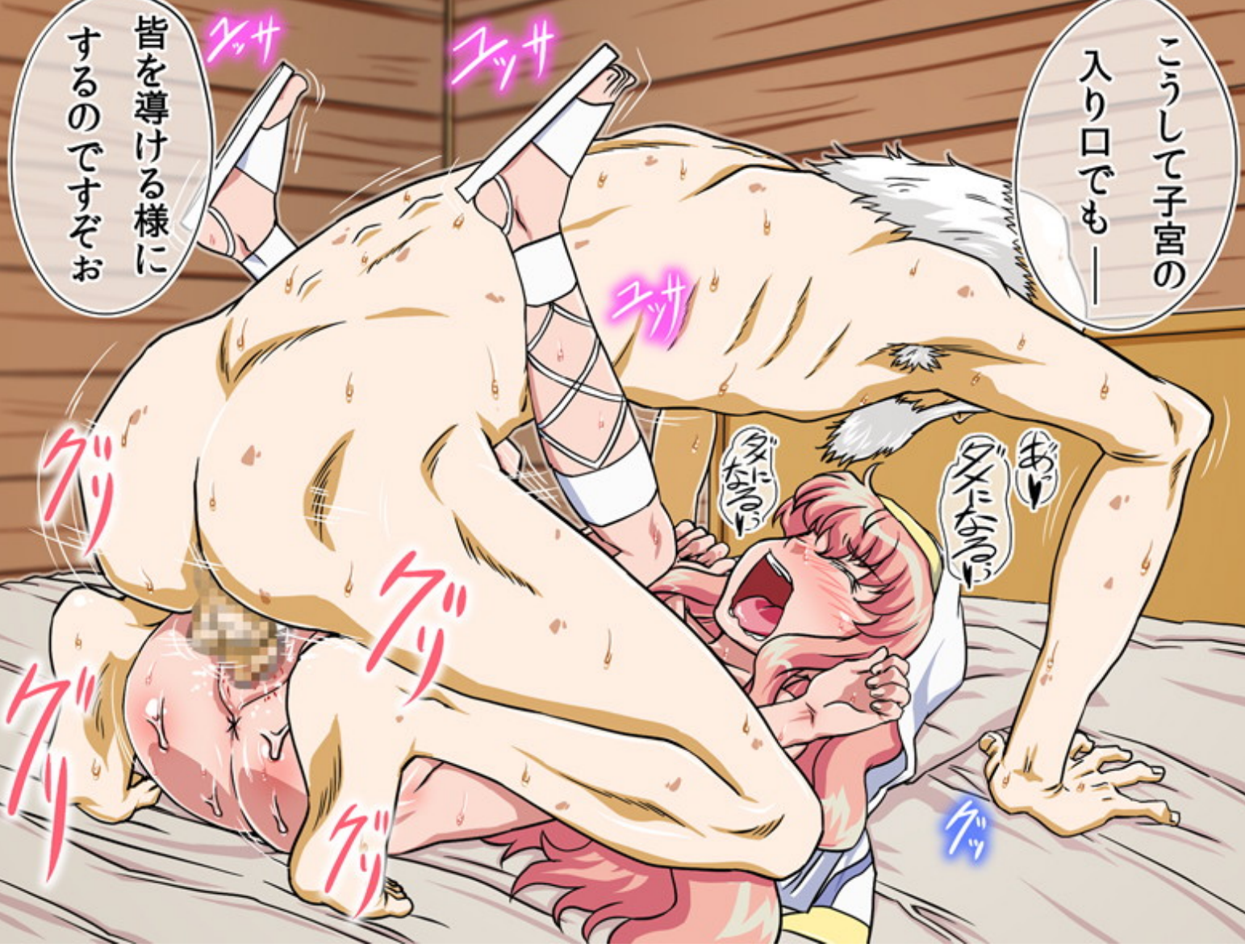
皆に安らぎを
与えるのですぞお

しっかり練習
しなさい!!



こうして子宮の
入り口でもー

皆を導ける様に
するのでお



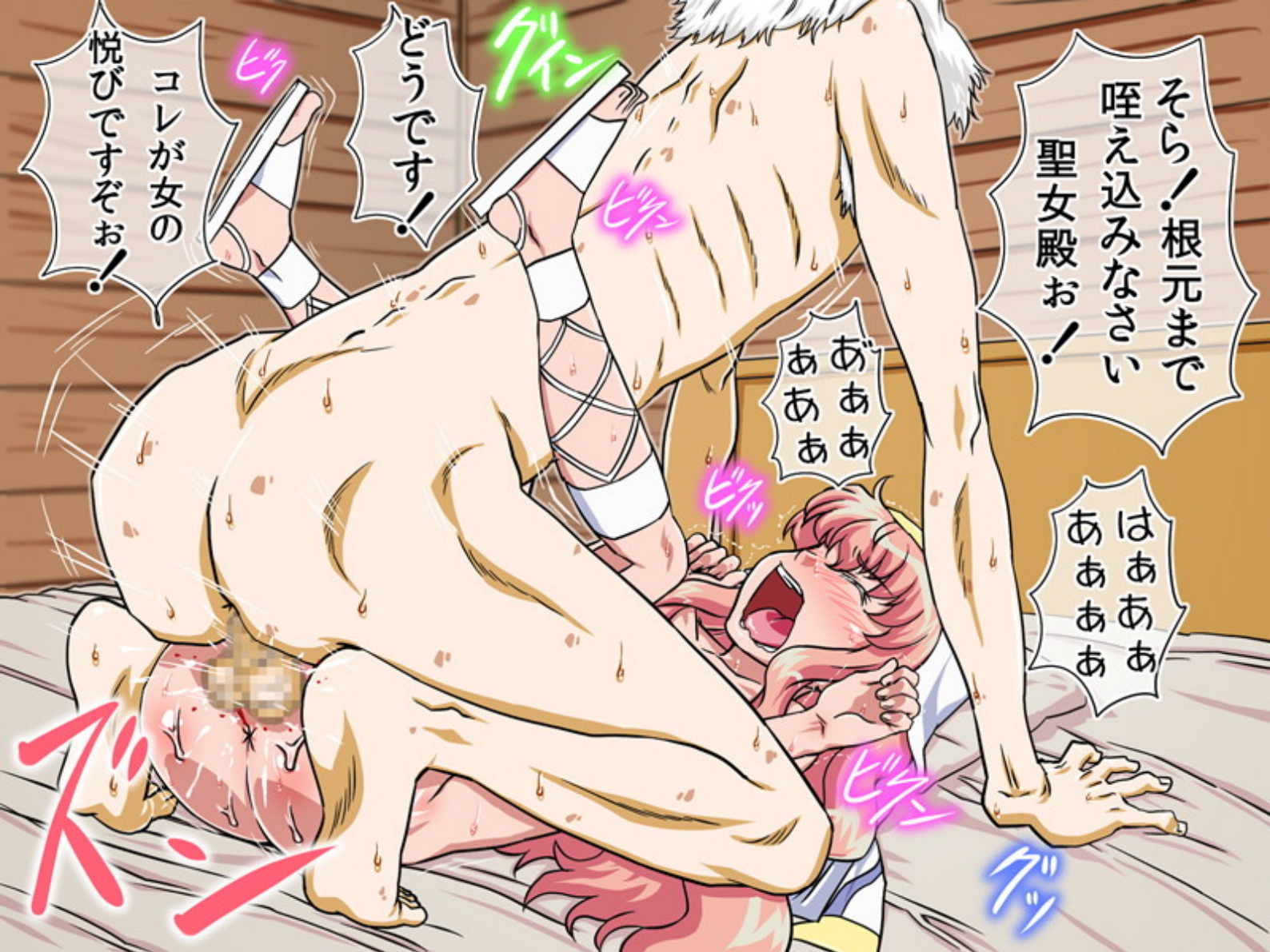
激しく動く
モノ達も
居りますぞ

どんな者達でも
受け止めるの
ですぞお!!

奥にびっ
り
おちろい

おちろい
おちろい





そら！根元まで
啜え込みなさい
聖女殿お！

はあああ
あああ

あああ
あああ

どうです！

コレが女の
悦びですぞお！



よし！
またイキます
ぞおく！

聖女殿！
貴女も
イキなさい！！

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー



いやあ、さすが

始祖の血を引く

公爵家の御息女

実に素晴らしい
締め付け
でしたぞお♡

この調子で
兵士達に安らぎを
与えてください
ますかな？



少々お待ちさせて
しまいましたが一

皆さんも聖女殿に
タップリ英気を養って
頂くとよいでしょう

らららら

もむりっ

初めてなのに
アレほど悦んでいま
したし、これは実に
楽しみですなあ

その小さい穴の
高貴な締め付けとやらを
是非とも体験してみたい
ですなあ



穴ひとつでは
足りませんぞお

おしり

ビクン

ゴッ

ビク

ビク

タメエ

はあ

兵士は大勢
おりますぞ

りやめえ

ハルケギニアの
民に結束を!!

さあ聖女殿!
皆の猛りを
受け止めて

お口でも
お勤め出来る
ように、練習
ですぞ!

ホラ、
聖女殿!

パン

パン

パン

アッ

アッ



出るぞ!

んじっ

熱っ

あぁ

ぶほっ

お受け止め
一滴残らず
下せろ!

それ孕めえ!

肛門キツイ

うひぐう
ううう!

出るぞ!
んじっ
熱っ
あぁ
ぶほっ
お受け止め
一滴残らず
下せろ!
それ孕めえ!
肛門キツイ
うひぐう
ううう!



さあイキ
ますぞお!

全身で受け
止めろさ!!

ピン

ピン

ピン

ピン

